

表 2-1 : MaQ 感想アンケート 回答内容

	受検者全体		MSM受検者	
	n=169		n=147	
	n	%	n	%
性別				
男性	155	91.7	147	100
女性	10	5.9	0	
その他	3	1.8	0	
不明	1	0.6	0	
性行為経験と性別				
経験なし	1	0.6		
同性間のみ・男性	103	60.9	103	70.1
同性間と異性間・男性	44	26.0	44	29.9
異性間のみ・男性	6	3.6		
同性間のみ・女性	1	0.6		
同性間と異性間・女性	3	1.8		
異性間のみ・女性	6	3.6		
同性間と異性間・その他	3	1.8		
不明	2	1.2		
年齢層				
15-19歳	4	2.4	3	2.0
20-24歳	45	26.6	40	27.2
25-29歳	34	20.1	31	21.1
30-34歳	33	19.5	29	19.7
35-39歳	21	12.4	19	12.9
40-44歳	13	7.7	11	7.5
45-49歳	13	7.7	10	6.8
50-54歳	1	0.6	1	0.7
55-59歳	1	0.6	1	0.7
60-64歳	1	0.6	1	0.7
不明	3	1.8	1	0.7
居住地				
大阪府	84	49.7	73	49.7
兵庫県	27	16.0	24	16.3
京都府	15	8.9	11	7.5
奈良県	4	2.4	4	2.7
滋賀県	7	4.1	6	4.1
和歌山県	0		0	
その他	31	18.3	29	19.7
不明	1	0.6	0	
検査意図				
受けようと思ったことあり	147	87.0	129	87.8
受けようと思ったことなし	22	13.0	18	12.2
これまでの受検経験				
あり	117	69.2	108	73.5
なし	52	30.8	39	26.5
これまでの受検回数				
	n=117		n=108	
1回	38	32.5	33	30.6
2~3回	37	31.6	34	31.5
4~5回	25	21.4	24	22.2
6回~10回	12	10.3	12	11.1
11回以上	1	0.9	1	0.9
不明	4	3.4	4	3.7
過去1年間の受検経験				
あり	44	26.0	42	28.6
なし	124	73.4	104	70.7
不明	1	0.6	1	0.7
過去1年間の受検回数				
	n=44		n=42	
1回	33	75.0	31	73.8
2回	8	18.2	8	19.0
3回	1	2.3	1	2.4
不明	2	4.5	2	4.8

	受検者全体		MSM受検者	
	n=169		n=147	
	n	%	n	%
受検理由(複数回答)				
自分にも感染の可能性があるから	103	60.9	89	60.5
これまでに検査を受けたことがないから	31	18.3	24	16.3
ただ単に感染しているかを知りたいから	60	35.5	55	37.4
安いから	36	21.3	34	23.1
迅速検査ですぐに結果がわかるから	72	42.6	69	46.9
友人に誘われたから	24	14.2	19	12.9
新しい恋人やパートナーができたから	29	17.2	26	17.7
イベントのついでに受けられたから	79	46.7	71	48.3
その他	8	4.7	7	4.8
検査会をどのように知ったか(複数回答)				
PLuS+のパンフレット	54	32.0	49	33.3
PLuS+のホームページ	14	8.3	13	8.8
PLuS+に来て検査ブースがあった	71	42.0	63	42.9
distaやMASH大阪スタッフから	14	8.3	11	7.5
身近な人(恋人・友人等)から	41	24.3	31	21.1
ゲイバーのママなど知り合いから	11	6.5	10	6.8
その他	4	2.4	3	2.0
PLuS+にこれまで何回来たか				
0回	42	24.9	37	25.2
1回	43	25.4	39	26.5
2回	35	20.7	31	21.1
3回	19	11.2	15	10.2
4回	13	7.7	12	8.2
5回	6	3.6	5	3.4
6回	6	3.6	6	4.1
不明	5	3	2	1.4
過去6か月間の施設等利用(複数回答)				
いずれも利用なし	16	9.5	5	3.4
ゲイバー	122	72.2	119	81.0
ゲイナイト	80	47.3	77	52.4
ゲイショップ	59	34.9	57	38.8
出会い系サイト(携帯)	69	40.8	67	45.6
出会い系サイト(PC)	36	21.3	35	23.8
SNS	86	50.9	82	55.8
有料のハッテン場	71	42.0	69	46.9
その他のハッテン場	13	7.7	12	8.2
大阪の団体やサービスの認知				
MASH大阪				
以前から知っていた	94	55.6	84	57.1
今日会場で知った	21	12.4	19	12.9
知らない	41	24.3	35	23.8
dista				
以前から知っていた	111	65.7	101	68.7
今日会場で知った	19	11.2	17	11.6
知らない	30	17.8	23	15.6
CHARM				
以前から知っていた	15	8.9	13	8.8
今日会場で知った	24	14.2	23	15.6
知らない	107	63.3	95	64.6
follow				
以前から知っていた	8	4.7	7	4.8
今日会場で知った	23	13.6	21	14.3
知らない	115	68.0	103	70.1
POSP電話相談				
以前から知っていた	10	5.9	8	5.4
今日会場で知った	25	14.8	23	15.6
知らない	112	66.3	101	68.7
ひよこクラブ				
以前から知っていた	11	6.5	9	6.1
今日会場で知った	25	14.8	22	15.0
知らない	109	64.5	99	67.3
+-=O				
以前から知っていた	44	26	38	25.9
今日会場で知った	29	17.2	26	17.7
知らない	78	46.2	71	48.3

表 2-2 : MaQ 感想アンケート 回答内容

	受検者全体		MSM受検者	
	n=169		n=147	
	n	%	n	%
検査会評価と満足度				
検査手順				
わかりやすかった	159	94.1	138	93.9
ややわかりにくかった	9	5.3	9	6.1
非常にわかりにくかった	0		0	
説明がなかった	0		0	
検査結果の受取方法				
わかりやすかった	159	94.1	138	93.9
ややわかりにくかった	9	5.3	9	6.1
非常にわかりにくかった	0		0	
説明がなかった	0		0	
検査結果お知らせ時の説明				
わかりやすかった	164	97	143	97.3
ややわかりにくかった	4	2.4	4	2.7
非常にわかりにくかった	0		0	
説明がなかった	0		0	
話し方・言葉づかい				
満足	162	95.9	141	95.9
やや不満	6	3.6	6	4.1
不満	0			
質問しやすい雰囲気				
満足	162	95.9	142	96.6
やや不満	4	2.4	3	2.0
不満	2	1.2	2	1.4
プライバシー保護				
満足	153	90.5	134	91.2
やや不満	15	8.9	13	8.8
不満	0		0	
安心できる雰囲気				
満足	162	95.9	142	96.6
やや不満	5	3.0	4	2.7
不満	1	0.6	1	0.7
受付から採血までの待ち時間				
満足	133	78.7	115	78.2
やや不満	27	16.0	25	17.0
不満	8	4.7	7	4.8
結果お知らせの待ち時間				
満足	139	82.2	122	83.0
やや不満	22	13.0	19	12.9
不満	7	4.1	6	4.1
結果お知らせ時の対応				
満足	165	97.6	144	98.0
やや不満	3	1.8	3	2.0
不満	0		0	
今回検査を受けてみて良かったか				
良かった	164	97.0	143	97.3
良くなかった	1	0.6	1	0.7
どちらでもない	3	1.8	3	2.0

●実施結果2「スタッフについて」

200人規模の迅速検査を実施するためには、多数のスタッフの参加が不可欠であった。そこで、CHARMが運営していた土曜日常設HIV検査事業（SAT）の経験者や大阪市保健師を中心に、スタッフを募集することとした。同時に説明・研修会の準備をした。

【募集方法】

大阪市保健所は、全保健師に向けて参加者を募った。またCHARMは2009年9月まで運営していたSATに関わっていた人たちに参加の呼びかけをした。その中に大阪府保健師が含まれ、同僚などへの声かけも行なわれた。採血者については、SATに関わっていた看護師のネットワークにより、HIV検査での採血経験者に声かけがされた。MASH大阪ボランティア等の人からの自主的な参加希望もあった。

【研修会の実施と参加者】

迅速HIV検査会MaQへの参加（特にリスクスクリーニングを担当する検査受付、事前説明、結果通知、カウンセリング、個別相談）には研修会の受講を前提とした。8月から10月にかけて、4種類、6回の説明・研修会を企画・実施した。これらの研修会を受講できなかった人には個別の研修を実施した（表3、表4）。研修会参加者の合計は87名であった。研修を受講できなかった人には前述以外の実務を担ってもらうこととした。特に研修を設けなかった各パートの実務については当日に実務マニュアルを配布した。

表3：研修内容別参加者数

研修内容	参加者合計	内訳
採血前対応 (検査受付・事前説明)	38名	保健師32名・医療ソーシャルワーカー2名、その他4名 (うち元SATスタッフ7名)
結果通知	41名	保健師36名、看護師1名、医師4名 (うち元SATスタッフ8名)
カウンセリング	6名	HIV陽性結果通知もしくは陽性者支援経験のある心理職6名 (うち元SATスタッフ4名)
個別相談	2名	検査時個別相談経験者2名 (うち元SATスタッフ2名)

表4：研修会実施概要

研修内容	日時	参加者数
MaQ 概要・採血前（検査受付、事前説明）	9月3日（金）19時～21時	21名
MaQ 概要・採血前（検査受付、事前説明）	9月12日（日）14時～16時	11名
MaQ 概要・結果通知・結果通知会場での通知以外の役割	9月4日（土）14時～16時	18名
MaQ 概要・結果通知・結果通知会場での通知以外の役割	9月8日（水）18時半～20時半	23名
MaQ 概要・結果通知時のカウンセリング	8月17日（火）19時～21時半	5名
MaQ 概要・個別相談	9月24日（金）19時～21時半	2名
上記以外に個別に研修実施：4回、参加合計7名		

【検査会当日のスタッフ参加状況】

説明・研修会に参加した人のほとんどが検査会に参加し、当日参加スタッフの実数は合計87名であった(表5)。多くの保健師の参加が得られ、ほとんどのパートでシフトを組んで実務をした。多くの保健師はふたつのパートを担当した。なお、混乱やシフト組みの煩雑さを避けるために、会場別にシフトを組んだ。

表5：職種別スタッフ内訳

職種	採血会場と検査分析	結果通知会場	確認検査結果通知会場(翌日)
保健師	29名(うち元SAT 1名)	16名(うち元SAT 2名)	1名
看護師	11名(うち元SAT 3名)	2名(うち元SAT 2名)	
医師	1名(管理医師)	2名(うち元SAT 2名)	4名(うち元SAT 4名)
心理士		5名(うち元SAT 3名)	2名(うち元SAT 1名)
ソーシャルワーカー	4名(うち元SAT 3名)		4名(うち元SAT 3名)
検査技師	5名		
その他	7名(うち元SAT 3名)	1名(うち元SAT 1名)	1名(うち元SAT 1名)
会場別計	56名	26名	12名
参加スタッフ実数合計		87名	

表6：担当パート別スタッフ内訳(のべ人数)

担当パート	スタッフ数	内訳
スタッフ受付・シフト管理	2名	保健師2名
採血会場オペレーター	1名	ソーシャルワーカー1名(うち元SAT 1名)
検査案内	2名	その他2名
受検者カウント	3名	保健師2名、その他1名(うち元SAT 1名)
チケット回収	3名	保健師3名
チケット払い戻し	3名	保健師3名
検査受付	15名	保健師13名、ソーシャルワーカー2名(うち元SAT 1名)
事前説明待合	6名	保健師3名、ソーシャルワーカー1名、その他2名(うち元SAT 4名)
事前説明	14名	保健師11名、その他3名(うち元SAT 4名)
採血待合	6名	保健師6名(うち元SAT 1名)
採血	9名	看護師9名(うち元SAT 2名)
止血確認	2名	看護師2名(うち元SAT 1名)
アンケート記入	3名	保健師2名、その他1名
個別相談受付	4名	保健師4名
採血会場個別相談	1名	その他1名(うち元SAT 1)
検体運搬	3名	保健師2名、その他1名
検査分析	5名	大阪府立公衆衛生研究所職員5名
結果伝達	4名	保健師2名、その他2名
結果通知会場・全体オペレーター	1名	その他1名(うち元SAT 1)
結果通知会場・オペレーター補助	2名	保健師2名(うち元SAT 2)
結果通知会場・受付	5名	保健師5名
結果通知会場・部屋案内	6名	保健師6名
結果通知会場・結果通知	15名	保健師12名、看護師1名、医師2名(うち元SAT 3名)
結果通知会場・個別相談	1名	看護師1名(うち元SAT 1)
結果通知会場・カウンセリング	5名	心理士5名(うち元SAT 3)
結果通知会場・出口回収	2名	保健師2名
確認検査結果通知会場・オペレーター/受付	1名	その他1名(うち元SAT 1)
確認検査結果通知会場・案内	2名	保健師1名、ソーシャルワーカー1名(うち元SAT 1名)
確認検査結果通知会場・結果通知	4名	医師4名(うち元SAT 4名)
確認検査結果通知会場・カウンセリング	3名	心理士2名、ソーシャルワーカー1名(うち元SAT 2名)
確認検査結果通知会場・受診前相談	2名	ソーシャルワーカー2名(うち元SAT 1名)

【検査会のオペレーションデザインとスタッフ研修についてのまとめ】

対象者をしぼり、受検希望者に最低限の情報を提供した上で受検を決定してもらうため、また丁寧な結果通知を受けて適切な相談を利用できるようにするため、パート別に役割分担をする検査会デザインとなった。スタッフとして参加する者に対し最低限の研修を実施することで、検査会の目的やスタッフの基本姿勢、及び各パートの役割や手順を伝えることに努めた。

当日参加スタッフには、報告および感想用紙への記入を依頼した。また、検査会開催の約1ヵ月後（11月9日）に、スタッフ振り返り会を実施した。受検者数や受検者の特性などの実施結果を報告するとともに、スタッフからの報告や感想を共有する時間を持った。

研修については、事前に目的や手順が把握できたことで当日安心して臨めたということや、受検者にとって安心して利用できる検査相談のあり方を学ぶことができたなどの感想が寄せられた。また、日常の業務について振り返る機会や知識の確認になったということ、陽性の人のサポートサービスの存在を知ることができたなどの感想もあった。一方で、未定のことが多々あり、おおよその流れはわかったが当日に変更点があり戸惑ったという意見も寄せられた。

担当したパートについては、それぞれが経験したことや実務報告、具体的な改善点などについて多くの感想や意見が寄せられた。また、ともに活動したことにより、異なる職場や多職種との交流の機会にもなった様子が伺われた。実際に受検者に接した感想、自らの意識や姿勢、および受検者理解についての気づきのコメントも寄せられた。以下に一部を抜粋する。

- ・「採血の前の意思確認を繰り返し、検査を受けることの事後のリスクを正しく伝えることや、結果通知の受け取りまで含めたインフォメーションの実施が、最終的に結果受け取り 100%という結果に評価されると感じました。また、結果通知についての研修では、結果通知の部分だけではなく、検査体制全体の流れや事前の配慮・結果通知後のフォロー体制、安全で安心して受ける事の出来る検査体制への配慮について、学ぶことができました」
- ・「色々な性に関する考え方があると再認識した。自分のこうあるべきといった思い込みがあることに気づかされた。その人を理解するには固定概念にとらわれずありのままを受け入れることを職場に戻ってから考えていきたい」
- ・「今後の検査場面で常に MSM の人かも？と思いながら対応することが、いろいろな相談に対応していくことができることになると思います」
- ・「こちらが当たり前と思っていることでも、受検者はわからない（知らない）可能性があるので、全てを一通り説明することの重要性を感じました」
- ・「受検が怖いという人を間近で見て、受検しない・したくない人にとっての恐怖心をリアルに感じ、複雑な気持ちになった。この恐怖心を除き受検に結びつけるのは、容易なことではないと思う。だが同時に、この恐怖心に共感しようとする姿勢を持ちながら予防・検査・ケア情報を発信することの意味を再確認した」
- ・「サービスを提供するにあたっての考え方について改めて考えさせられました」
- ・「今後の HIV 検査のあり方、あるべき（やるべき）姿を学ばせてもらったかんじです」

●考察・まとめ

そねざき古林診療所の巡回診療として、PLuS+ FINALにおいてHIV迅速検査会MaQを実施した。87名のスタッフの参加を得て、PLuS+ FINALの開催時間中に、メイン会場の扇町公園特設検査場で採血を行ない、約1時間後に、検査結果通知会場とした大阪市北区保健福祉センターで結果の通知をする（ただし、確認検査が必要となった方には、翌日に確認検査結果を受け取りに、再度お越しいただく）というデザインで設定した。

イベント開催時間内に当日の結果通知を終了できるよう、受け入れ可能な受検者数の限界を200人と設定した。その限られた枠内で、受検する必要性の高い人たちがより多く受検できるよう、受検前にリスクスクリーニングを行ない、HIVに感染する機会がほとんどなかったと判断される方や、定期的に検査を受けている方などには受検をご遠慮いただくという形式で行なった。

その結果、受検希望者214人、リスクスクリーニング後の受検希望者172人、最終的な受検者169人（途中キャンセル3人）となった。169人全員が結果を受け取った。そのうち要確認検査結果を受け取った6人の全員が翌日の確認検査結果を受け取り、全員が陽性結果であった。この6人は全て同性間の性的接触経験のある男性であった。この6人にはHIVの専門治療病院を紹介し、全ての方が受診したことを確認している。

169人の受検者のうち147人が同性間の性的接触経験のある男性であった。この中で6人がHIV陽性と判定されたことから、同性間の性的接触経験のある男性の約25人に1人がHIV陽性であったという結果となった。さらに、関西地域在住者に絞ってみた場合、約20人に1人の割合となることが分かった。

企画当初設定した目的と対象に沿って結果をまとめると、

- ・最大200人の受け入れ体制を準備した中、214人が来場し、最終的に169人が受検した。その多くは当日に検査会を知った人であった。
⇒「人のいる場所へ出向く」検査相談が機能した。
- ・受検者全員が結果を受け取った。
⇒イベントでの確認検査結果を翌日に返す迅速検査が機能した。
- ・陽性率は、全受検者の3.6%、MSM受検者の4.1%、関西居住MSM受検者の5.1%であった。
⇒感染の可能性のある状況にある人に受検機会を提供できた。
- ・MSMの70%がこれまで、もしくは過去1年間に受検していない人であった。
⇒HIV感染の可能性の高い状況にありながら、わざわざHIV検査には行かない人に受検機会を提供できた。
事前広報をしなかったこと、リスクスクリーニングを導入したことがある程度機能した。

これらの結果から、今回の検査会は「検査への意図はあるが、既存の検査場には出向けていない」人たちに、大型イベントを契機にして受検を促すという目的をある程度達成できたと考える。

しかし、この検査会は単にイベント会場でのHIV検査実施を推奨するものではない。検査相談を必要としている人たちに向けて、いかに早期検査の機会を提供し、治療アクセスや社会にあるリソースを活用するようにしていくかを十分に準備して検査を実施することが大切であると考ええる。

さらに検査会運営の観点から、巡回診療など検査会運営主体のありかたについてはいくつかの課題があるものの、多くの機関・団体の協力により相談・支援を十分に準備できたことや、スクリーニング検査結果の通知会場としてイベント会場（採血会場）の近隣に位置する大阪市北区保健福祉センターが使用できたことには大きな意味がある。今回の検査会は、民間組織、自治体、検査機関の協働により実現したといえる。

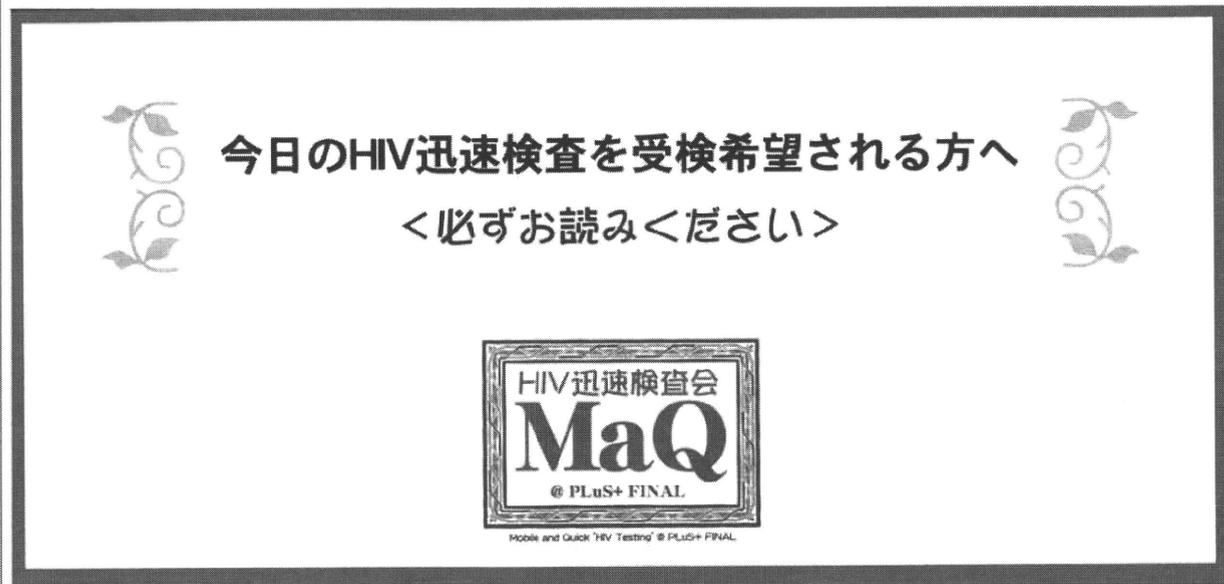
また保健師をはじめとする多くのスタッフの参加があり、これまであまり検査相談の経験がなかった方にも、検査相談についての基本姿勢を体験したり、MSM受検者の現状に触れたりする機会になった可能性がある。共通目的を持ち、それを実現するためにセクターや職種を越えて一緒に活動することの意義が示された。

今後も民間と自治体が、検査相談環境の充実に向けて協働していくことへのきっかけになることを期待する。

添付資料

添付資料1：検査案内所で配布した資料セット（一式）

①受検希望者への事前配布資料「今日の検査を受検希望される方へ」



②リスクスクリーニング用「確認用紙」



③確認用紙記入用鉛筆





MaQ
HIV迅速検査会
Plus+ FINAL

<必ずお読みください>

今日HIV迅速検査を受検希望される方へ

■今日は検査を受けられないんだけどという方は…

保健所や委託検査機関などで、無料・匿名検査を受検できます。医療機関でも、有料で受検できます。
 MASH大阪が運営しているホームページdista.bでは、関西の無料・匿名HIV検査場が検索可能です。
 ゲイ・バイセクシュアル男性を中心としたMSMのための、クリニック検査キャンペーンについても掲載しています。

dista.b

PCサイト>>> <http://www.dista.be/>

携帯サイト>>> <http://www.dista.be/m/>



携帯はこちらから

HIV迅速検査会 MaQ @ Plus+ FINAL
 実施日: 2010年10月10日(確認検査結果の通知は11日)
 主催: MASH大阪
 協力機関: 大阪市保健所/大阪府立公衆衛生研究所/特定非営利活動法人 CHARM/特定非営利活動法人 関西エイズ対策協議会/そねぞき古林診療所
*検査実施会場となるPlus+ FINALは「厚生労働省 エイズ予防のための戦略研究」(大阪市保健所 個別施策層向けエイズ予防啓発事業)に基づき実施されます

□ 陽性とわかったら?

HIVは、治療をしなければ死に至る病気ですが、日本では、早く感染がわかれば、死に至る病気ではなコンロールしながら長期的に付き合っていく病気になることができます。HIVとともに生活していくための医療が日本では整っています。

感染がわかったら、現在どのくらい体内にHIVがあるか、免疫力はどうかなどの状態をまず知る必要があります。その状態によって、体内のHIVの増加をとめるための薬を飲み始めるかどうか判断されます。すぐに飲み始めない場合には、病院でHIVや免疫力の検査を定期的に見ていきます。HIVのお薬は高価ですが、個人の負担が軽くなるための制度があります。

本日、「確認検査」という結果がわかった場合にも、明日「陽性」という結果がわかった場合にも、病院の選択や病院に行く前の心配ごと、今後のことなどについて説明し、相談にのります。また、陽性とわかった人が利用できる電話相談などのサポート情報もお伝えします。

□ フライバシは守られる?

この検査では、受検者を番号のみで把握し、名前や連絡先などの個人情報は一切お聞きしません。受付後にもう番号があなたの番号になり、採血のときも、結果を受け取るときもその番号をうめます。

ただし、イベント会場で実施する検査のため、あなたが受検することを、友人や知人に知られるかもしれないかもしれません。結果を受け取った後に、友人・知人と顔を合わせるかもしれないかもしれません。そういう意味で、知り合いのいる中で検査を受け、結果を受け取るという状況になる可能性があります。

また、検査結果も個人情報ですので、受検した人に検査の結果を聞かないようにしましょう。

折後表紙面

山折(2折め)

折後裏紙面

山折(1折め)

今日のHV迅速検査の受検を希望される方は、必ずこのリーフレットをよくお読みください。
その上で、本当に今日受検するかどうか、自分の意思で決定し、受検を希望する場合には、このリーフレットと一緒に
お渡しした確認用紙に記入を済ませて、PLUS+ TICKETを3枚持って、検査場入口にお越し下さい。

こんな人に受けて欲しい・・・

HVに感染する機会が充分にあった方で、

今までに一度も検査を受けたことがない方 or 長期間検査を受けていない方

MaQは、PLUS+ FINALの開催に合わせて実施されるHV迅速検査会です。

PLUS+ FINALの開催時間中に、メイン会場である扇町公園の特設検査場で採血を行い、およそ1時間後に検査結果をお伝えします。(ただし、確認検査が必要となった方は、翌日に確認検査結果を受け取りに、再度お越しいただく必要があります。)

今回は限られた時間の中で検査会を実施するので、受検していただける人数には限界があります。

そこで今回の検査会では、HV感染の可能性の高い方に優先して受検していただくため、HVに感染する機会がほとんどなかったと判断される方や、定期的に検査を受けている方などには受検をご遠慮いただくこともあります。

対象者:HVに感染する機会があったが、検査を受けたことがない方。または長期間検査を受けていない方
検査項目:HV
結果お知らせ:約1時間後(要確認の場合は明日の午後に再度お越しいただく必要があります)
費用:PLUS+チケット3枚
場所:【採血】扇町公園内MaQ検査場入口/【結果お知らせ】扇町公園隣接会場(徒歩2分くらい)

今日の検査について・・・

検査項目はHVのみ

今日受けることのできる検査は、HV(エイズの原因となるウイルス)に感染しているかどうか分かる検査です。

HV検査は2段階の検査方法で実施されます。まず、受検した全員の血液をスクリーニング検査(*1)します。スクリーニング検査で「要確認検査」(「陽性+」)と判定されたものに関して、確認検査(*2)を実施します。

※スクリーニング検査

HVに感染している可能性があるかないかをふるい分けする検査です。しかし非常に鋭敏な検査なので、本当は陰性なのに陽性と判定されること(偽陽性)があります。そこで陽性と判定されたものについては確認検査を実施する必要があります。(偽陽性判定の確率は100~200人に1人くらいの割合といわれています) 今回の検査ではスクリーニング検査を2種類実施することで偽陽性の割合を減らした上で結果をお知らせします。

※確認検査

スクリーニング検査結果が陽性だった場合に、その陽性結果について本当に陽性なのか、もしくは偽陽性なのかを判定する検査です。HV感染を正確に判定することができる方法で実施されます。確認検査で陽性と判定された場合は、HVに感染していると考えられます。

今日はHV検査のみを実施していますので、HV以外の性感染症の検査についてはクリニック検査の資料をご覧ください。

結果のお知らせは、約1時間後(要確認の場合は明日の午後に再度お越しいただく必要があります)

扇町公園内で採血をして、約1時間後に扇町公園隣接会場(徒歩2分くらい)にて結果をお返しします。

この時にわかるのは、「陰性」か「要確認検査」という結果です。

「陰性」というのは、2ヵ月前の時点で感染していなかったという意味です。

「要確認検査」というのは、感染している可能性があり、この検査だけでは確定できないため、確認検査の必要があるという意味です。「要確認」の結果だった場合には、確認検査をした結果を公園近隣の会場にて明日お返しします。

確認検査の結果として「陰性-」つまりHVに感染していない、「陽性+」つまり感染しているということがわかります。

◎これまでの様々な調査のデータから推測し、今回の検査会では、検査を受けた人の3%~5%くらいの割合でHV陽性とわかる人がいる可能性があると考えています。今回の検査では10人前後の方と予想されます。

本日の検査結果は、イベントをやっている時間帯に、この公園近くの結果お知らせ会場で受け取るようになります。ひょっとしたらあなたは「要確認検査(=HV陽性の可能性があり確認検査が必要で最終結果は明日わかる)」という結果を受け取るかもしれませんし、その直後に友人や知人と顔を合わせるかもしれません。

検査を受けるには、PLUS+チケット3枚が必要

検査結果を記載した用紙などはお渡しいたしません

*** 検査の受付は午後5時半まで!**

内面

以下のQ1～Q10の質問について該当するほうに○をつけてください

Q1	コンドームを使わずに男性とアナルセックスをしたことがありますか?	ある or ない
Q2	セックス相手の精液(先走り液も含む)を口にふくんだりしたことがありますか?	ある or ない
Q3	薬物使用やアルコール摂取で、判断能力が不明瞭な状態でセックスをしたことがありますか?	ある or ない
Q4	薬物使用などで注射針を共有したことがありますか?	ある or ない
Q5	これまでに、HIV検査を受けたことがありますか?	ある or ない
65でない○をつけた方は、Q6-Q7は「一言書いておくだけでも結構です。Q8へ飛んでください。」		
Q6	過去1年以内に、HIV検査を受けたことがありますか?	ある or ない
Q7	前回検査を受けてから今までで、Q1～Q4のいずれかの行為をしたことがありますか?	ある or ない
Q8	迅速検査の結果を、採血後およそ1時間後に受け取りに来ることが出来ますか?	出来る or 出来ない
Q9	今日の迅速検査の結果が「要確認検査」となった場合は、確認検査結果を明日受け取りに来ることが出来ますか?	出来る or 出来ない
Q10	迅速検査の結果はこの公園に開放する施設で受け取るようになります。ひとつとしてあなたは「要確認検査」(→HIV陽性の可能性が少し確認検査が必要)という結果を受け取った後に、友人や知人に会うかもしれません。その事をきちんとよく考えうえで受検を希望しますか?	受検を希望する or 受検を希望しない

50X080X0505X08 記入がすんだら裏面をご覧下さい。 50X080X0505X08

外面



HIV 迅速検査会
MaQ
@ Plus+ FINAL

本日、HIV迅速検査会MaQの会場にて開催される方は、スリーステップ迅速検査キット3枚をお持ちください。検査結果は、検査場入口までお持ちください。

Model: VIV Q105 HIV Testing @ Plus+ FINAL

ご記入ありがとうございます。

では、

Plus+ TICKET を 3枚用意して
検査場入口までお越しください。

山折

Q1~Q4の回答別査定方法

【パターン①】

以下のQ1~Q10の質問について該当するほうに○をつけてください

Q1	コンドームを使わずに男性とアナルセックスをしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q2	セックス相手の精液(先走り液も含む)を口にふくんだりしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q3	薬物使用やアルコール摂取で、判断意識が不明瞭な状態でセックスをしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q4	薬物使用などで注射針を共有したことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>

すべて「ない」場合は、本日の受検でなくともよい

【パターン②】

以下のQ1~Q10の質問について該当するほうに○をつけてください

Q1	コンドームを使わずに男性とアナルセックスをしたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q2	セックス相手の精液(先走り液も含む)を口にふくんだりしたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q3	薬物使用やアルコール摂取で、判断意識が不明瞭な状態でセックスをしたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q4	薬物使用などで注射針を共有したことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>

すべて「ある」場合は、Q5~Q7へすすむ

【パターン③】

以下のQ1~Q10の質問について該当するほうに○をつけてください

Q1	コンドームを使わずに男性とアナルセックスをしたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q2	セックス相手の精液(先走り液も含む)を口にふくんだりしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q3	薬物使用やアルコール摂取で、判断意識が不明瞭な状態でセックスをしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q4	薬物使用などで注射針を共有したことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>

基本的にひとつでも「ある」場合は、Q5~Q7へすすむ

【パターン④】

以下のQ1~Q10の質問について該当するほうに○をつけてください

Q1	コンドームを使わずに男性とアナルセックスをしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q2	セックス相手の精液(先走り液も含む)を口にふくんだりしたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q3	薬物使用やアルコール摂取で、判断意識が不明瞭な状態でセックスをしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q4	薬物使用などで注射針を共有したことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>

Q2のみ「ある」で女性の場合は、多少コミュニケーション必要。
感染リスクが高くないため、この検査会での受検でなくともよい

Q5~Q7の回答別査定方法

【パターン①】

Q5: これまでに、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q6: 過去1年以内に、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q7: 前回検査を受けてから今まで、Q1~Q4のいずれかの行為をしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input type="radio"/>

Q5が「ない」の場合は、Q8~Q9にすむ

【パターン②】

Q5: これまでに、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q6: 過去1年以内に、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q7: 前回検査を受けてから今まで、Q1~Q4のいずれかの行為をしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>

本日の受検でなくともよい

【パターン③】

Q5: これまでに、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q6: 過去1年以内に、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q7: 前回検査を受けてから今まで、Q1~Q4のいずれかの行為をしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>

本日の受検でなくともよい

【パターン④】

Q5: これまでに、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q6: 過去1年以内に、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q7: 前回検査を受けてから今まで、Q1~Q4のいずれかの行為をしたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>

Q8~Q9にすむ

【パターン⑤】

Q5: これまでに、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/>
Q6: 過去1年以内に、HV検査を受けたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>
Q7: 前回検査を受けてから今まで、Q1~Q4のいずれかの行為をしたことがありますか?	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/>

定期的に受検しているのなら、本日の受検でなくともよい

コツ:基本はQ5とQ7を見ればよい!

Q5「ない」 → Q8~Q9へ
 Q5「ある」& Q7「ない」 → 対象外
 Q5「ある」& Q7「ある」 → Q8~Q9へ
 ただし、パターン⑤はコミュニケーション必要
 どこかで定期的に受検しているなら対象外

Q8~Q9の回答別査定方法

【パターン①】

Q8	迅速検査の結果を、採血後およそ1時間後に受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input checked="" type="radio"/> 出来ない <input type="radio"/>
Q9	今日の迅速検査の結果が「要確認検査」となった場合は、確認検査結果を明日受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input checked="" type="radio"/> 出来ない <input type="radio"/>

Q8は、具体的な時間を提示して確認。
「今から30分後くらいに採血になる。
それから1時間後なので、〇時〇分くらいに
結果を受け取る時間かとれるか」(ここから徒歩2分の会場)

Q8、Q9とも「出来る」人のみQ10へ

【パターン②】

Q8	迅速検査の結果を、採血後およそ1時間後に受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input type="radio"/> 出来ない <input checked="" type="radio"/>
Q9	今日の迅速検査の結果が「要確認検査」となった場合は、確認検査結果を明日受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input type="radio"/> 出来ない <input checked="" type="radio"/>

本日は受検してもらわない
他の検査検査サイトは配布資料にあり

【パターン③】

Q8	迅速検査の結果を、採血後およそ1時間後に受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input type="radio"/> 出来ない <input checked="" type="radio"/>
Q9	今日の迅速検査の結果が「要確認検査」となった場合は、確認検査結果を明日受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input type="radio"/> 出来ない <input checked="" type="radio"/>

本日は受検してもらわない

【パターン④】

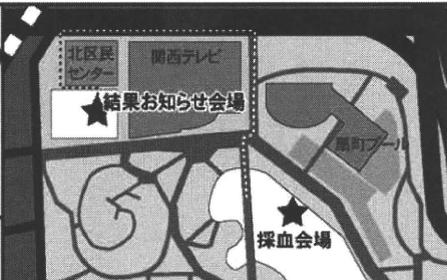
Q8	迅速検査の結果を、採血後およそ1時間後に受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input type="radio"/> 出来ない <input checked="" type="radio"/>
Q9	今日の迅速検査の結果が「要確認検査」となった場合は、確認検査結果を明日受け取りに来ることが出来ますか?	出来る <input type="radio"/> 出来ない <input checked="" type="radio"/>

本日は受検してもらわない

表面

<p>HIV迅速検査会 MaQ 検査結果引換証</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 150px;"> <p>MaQ-001</p> </div> <p style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">検査結果を受け取る時には、この引換証が必要になります。必ずご持参下さい。</p> <p>検査結果は、採血から約1時間後に 大阪市北区保健福祉センターへ受け取りにきてください。 検査に関する緊急連絡先：090-3843-5826（10日・11日のみ）</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">HIV迅速検査会 MaQ (報告控) 検査結果引換証</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 100px;"> <p>MaQ-001</p> </div> <p style="font-size: small;">*この引換証(報告控)は、確認後に 切り取り回収します。</p>
---	---

裏面

<p style="text-align: center;">HIV検査 受検意思確認書</p> <p>私は、HIV/AIDS及び本検査 について説明を受け、納得 のいく解答を得ました。 その上で、今日の検査を 受けます or 受けません</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">本日の 結果お知らせ について</p> <p>場所：北区保健福祉センター 時間：14:30～20:00 (受付は19:30まで)</p> <p>採血後約1時間後に、結果を 受け取りにきてください。</p> <p>12日以降の問い合わせは、 06-6647-0652 (大阪市保健所担当部署直通)</p> </div> 
--	--

HIV迅速検査MaQ@PLuS+FINAL 採血前のインフォメーション

Mobile and Quick HIV Testing @PLuS+ FINAL

検査セットの確認

セット内容

- 検査結果引換証
- 番号シール
- アンケート用紙
- アンケート用の封筒

検査結果引換証と番号シールの番号が同じかどうか確認してください

ここでお伝えすること

- ① 匿名検査について
- ② 検査の流れ
- ③ 検査結果の意味
- ④ HIV感染の考え方
- ⑤ HIV陽性とわかったら
- ⑥ 採血について
- ⑦ 結果お知らせについて
- ⑧ アンケート協力をお願い
- ⑨ 相談のご案内

匿名の検査とは

個人を特定する情報をお聞きしない検査です

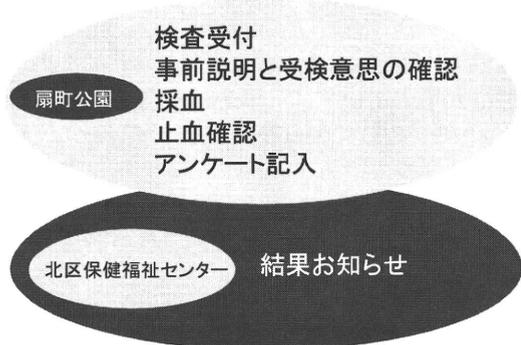
- ◆ 検査はすべて匿名で行われます
- ◆ 名前・住所・電話番号などの情報は必要ありません

検査結果引換証の番号ですべての手続きが行われます。
郵送や電話で結果をお知らせすることはできません。

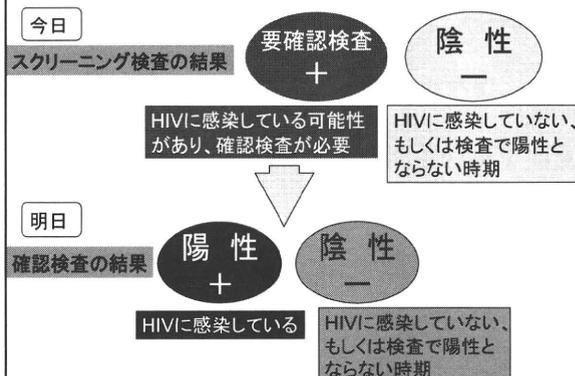
- ◆ 結果はすべて個別に医療者から本人に直接伝えます
- ◆ 検査結果を本人以外の方に知らせることはありません

結果通知担当者とカウンセラーなどの相談担当者は
検査結果とあなたの顔を両方見ることになります。

検査の流れ



HIV検査でわかること



感染機会があってから、検査で判定できるまで

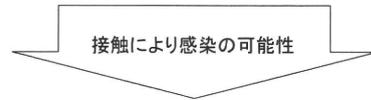
HIVに感染しても、血液検査ですぐに「HIV陽性」の結果となるわけではなく、ある程度の時間がかかります。

ごく最近に感染の可能性のある行為があれば、感染していても今回の検査では「HIV陰性」の結果となることがあります。

HIVに感染してから4週間以内で検査結果が「HIV陽性」となると考えられていますが、個人差がありますので、感染の可能性のある機会から8週間経って「HIV陰性」であれば感染していないと判断します。

HIV感染の考え方

HIVを含む血液・精液(先走り液も)・陰分泌液



粘膜・傷口(性器・直腸内・膣内・口腔内)

例) アナルセックス: 直腸粘膜の出血→ペニスの先・尿道

精液→肛門・直腸粘膜

例) 注射器具共用: 血液→血管内

HIV感染とエイズの関係

検査で+だったら、エイズなの？

このHIV検査はHIVに感染しているかどうかを調べるものです。

エイズを発症しているのかどうか、すぐに治療が必要なのかどうかは判定できません。

HIVに感染し、体の免疫力が壊され、様々な病状が現れる状態になった時にエイズと診断されます。

本日 要確認検査とわかったら？

- ◆ 明日午後に最終結果をお伝えしますので、近隣会場まで来ていただく必要があります。
- ◆ 結果通知会場で相談を利用することができます。
- ◆ 本日21時まで電話相談を実施しています。

明日 HIV陽性とわかったら？

- ◆ まず現在の身体状況を知る必要があります。
- ◆ 医療者が情報提供し病院の選択などのお手伝いをします。紹介状をお渡しします。
- ◆ 費用や保険証のことなど、病院へ行くにあたっての心配についても明日相談できます。
- ◆ 12日～16日夜に電話相談を実施しています。

HIV陽性とわかったら？

- ◆ 日本では、HIVとともに生活していくための医療が整っています。早めに感染がわかれば、コントロールしながら長期的に付き合っていく病気になっています。
- ◆ 医療費の個人負担が軽減される制度があります。

採血について

今日の検査は血液について行います

- * 看護師が採血します
- * 採血量は約7ccの採血管1本分です

注射器等の器材は使い捨てです

注射針や採血について特に配慮が必要な方は事前にお申し出ください。

採血後は止血のスペースでしばらくご休憩ください。

結果のお知らせについて

採血してから約1時間後に
北区保健福祉センターへ

検査結果は必ず聞こう

結果引換証を忘れずに

「要確認検査」結果だった場合
明日の結果受取時間の予約をします

* 検査結果の記載された用紙はお渡いたしません。

5分間アンケートについて

このアンケートは厚生労働科学研究事業(エイズ予防のための戦略研究)による調査で、エイズキャンペーンの向上を図る上で必要な情報を集めることを目的としているものです。

詳細についてはアンケートの説明をお読みの上、アンケートへのご協力をお願いします。

採血後に記入場所で記入し、封筒に入れて、回収箱へお願いします。

本日相談できます

◆相談内容の例

感染に関連する行為について
今日検査を受けるかどうか
今までの気をつけ方でいいのか
自分にあった今後の予防のしかた
受検動機
必要性に応じた関連機関の紹介

利用希望の方は相談受付テントへ

緊急連絡先

緊急のお問い合わせなどは
検査結果引換証にある電話番号まで

受検意思の確認

今日の検査を受けますか？

検査結果引換証に○をつけてください。

受けます

受けません

↓
採血待合へ

↓
検査場入口で
PLuS+チケットの払戻をします

～HIV 陰性（一）の結果について～



HIV 迅速検査会 MaQ@PLUS+ FINAL
2010 年 10 月 10 日随認検査結果の通知は 11 日

◆「HIV 陰性」の意味◆
「HIV 陰性」という結果は、あなたが HIV に感染していないことを示しています。今回の結果は、これまでのあなたの行為（主に性行為）が HIV 感染の可能性のなかつたことを示しているのかもしれない。あるいは、感染の可能性のある行為があつたけれども偶然に感染しなかつただけかもしれません。

◆感染の可能性のある行為と検査の時期◆
HIV に感染しても、血液検査ですぐに「HIV 陽性」の結果が出るわけではなく、ある程度時間がかります。したがって、ごく最近に感染の可能性のある行為（多くの場合性行為）があれば、この「HIV 陰性」という結果は確定的なものとはいえません。HIV に感染すれば、おおむね 4 週間以内に「HIV 陽性」の結果が出ると考えられますが、この期間には個人差があるので、感染の可能性のある機会があつて 8 週間を経過して「陰性」であれば感染していないと判断します。
したがって、最後に感染のリスクのある行為があつて 8 週以内に検査を受けられた場合、感染していないことを確認するために、もう一度検査を受けることをお勧めします。採血日からさかのぼって 8 週間以内に新たな感染機会がなければ感染していないことが現実的なで検査を繰り返す必要はありません。

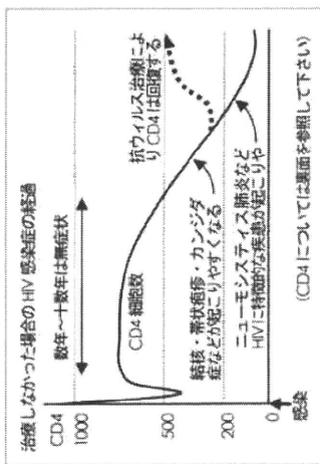
主催：MASH 大坂
検査に関する連絡先
・10 月 10 日と 10 月 11 日：090-3843-5826（緊急連絡用）
・12 日以降：06-6647-0652（大阪市保健所担当直通）

****HIV と AIDS****

◆HIV/AIDS の基礎知識◆

- ・HIV とは Human Immunodeficiency Virus（ヒト免疫不全ウイルス）の略で、HIV に感染した状態を放置すると、数年～十数年の間二次的に免疫機能が低下してきます。
- ・AIDS（エイズ）とは Acquired Immuno Deficiency Syndrome（後天性免疫不全症候群）の略で、HIV によって免疫機能が低下し、日和見感染症を発生した状態をさします。
- ・免疫とは、病原体（病気の原因となる微生物）が体の中に入り込んだときその病原体の増殖を抑制し排除しようとする人体に備わっているシステムです。
- ・日和見感染症とは、免疫機能が低下したときのみ発症する感染症です。たとえば、AIDS に特徴的な疾患のひとつである「ニューモシテリス肺炎（カリニ肺炎）」の原因となる真菌（カビ）は、多くの人の肺の中にもいますが、免疫機能が低下しない限り肺炎を引き起こすことはありません。
- ・つまり、HIV とはウイルスの名前で、AIDS とは HIV による病気の名前で。

◆HIV 感染症の経過◆

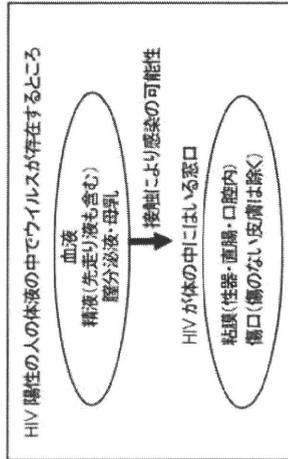


上の図のように、HIV に感染してもすぐに症状がでるわけではありません。数年～十数年間は何の症状もない期間があり、HIV の血液検査を受けなければ感染していることを知ることはできません。感染していることを知らないうちに他の人に感染する可能性もあります。

添付資料 8-1：種類が知らせずに渡すパンフレット（HIV 陰性（一）の結果について面）

****HIV 感染の可能性のある行為について****

◆HIV 感染の考え方◆



HIV を含む血液・精液・唾液が直接粘膜や傷口に接触することで感染する可能性がありますが、多くの場合コンドーム使用などの工夫で直接の接触を防ぐことができます。粘膜に炎症や潰瘍があると HIV は体内に侵入し易くなります。

◆HIV を感染の可能性のある行為◆

陽性の人	感染する可能性のある人	感染の可能性あり○	感染の可能性なし×
口（くち）	口（キス）	×	唾液中に HIV は含まれず 感染しない
	男性性器（オナチ）	×	
	女性性器（ヴァジナ）	×	
	肛門（アナル）	×	
男性性器	口（オナチ）	○	HIV を含む精液→口腔
	女性性器（膣性交）	○	HIV を含む精液→膣粘膜
	肛門（アナル）	○	HIV を含む精液→肛門・直腸粘膜
女性性器	口（オナチ）	○	HIV を含む唾液→口腔粘膜
	男性性器（膣性交）	○	HIV を含む唾液→膣粘膜
	口（オナチ）	○	HIV を含む唾液→口腔粘膜
肛門	口（オナチ）	○	HIV を含む唾液→口腔粘膜
	男性性器（膣性交）	○	HIV を含む唾液→膣粘膜
	口（オナチ）	○	HIV を含む唾液→口腔粘膜
	男性性器（アナル）	○	HIV を含む唾液→アナルからの出血
	女性性器（アナル）	○	HIV を含む唾液→アナルからの出血

- ・性用具の共用でも感染の可能性が生じることがある。
- ・注射針・注射器の共用は感染の可能性が高い